

フレックス型単位制高等学校に関すること

Q 単位制について教えてください。

A 教科・科目の修得単位を積み重ねて、高校卒業の資格が得られるシステムです。本校では入学1年目に主に共通科目を履修し、2年目から個人の進路目標（進学・就職希望等）に応じた教科・科目を選択できます。一人ひとりの個性と能力を發揮できるのが単位制の強みです。

Q 「単位」とは何ですか？

A 高校では、学習の量をはかるのに「単位」という言葉を使います。週あたり1時限の授業を1年間受けると、1単位となります。

Q 単位制の特色とは何ですか？

A 「自分だけの時間割」をつくることのできるのが最大の特色です。例えば、次のような時間割をつくることができます。

- 自分の得意分野をさらに伸ばし、進学に生かすため、特定の教科・科目を重視した時間割。
- 部活動・資格取得の学習・習いごと・家事などの時間も大切にしたい時間割。
- 不得意科目を基礎から学び、教養を高めたい時間割。
- 就職で生かせる科目を多く受講する時間割。

Q 生徒から見た単位制高校のメリットは何ですか？

A 多くの選択科目から何を学ぶかを自分で選んで決められることです。また、通常の学年制の高校と違い、学ぶ時期や順番も比較的自由に決めることが可能（一定の制限はあります）で、3年以上在籍し、卒業に必要な単位数を修得すれば卒業できます。

Q 大学進学に有利だって本当ですか？

A 大学の受験科目に焦点を絞って学習することが可能です。このため、国公立大学や私立大学を受験しようとする人は、志望校のことをよく調べて、効果的な時間割を作成することができます。

Q 単位制高校はどのような生徒に向いていますか？

A 自分の興味・関心や能力・適性、進路希望に応じた時間割で学習したい人にとって最適な学校です。

Q 定時制と全日制では高校卒業の資格に違いはありますか？

A ありません。全日制高等学校の卒業資格と同じです。

Q 他の定時制高校との違いは何ですか？

A Ⅰ部（午前）・Ⅱ部（午後）・Ⅲ部（夜間）の3部制の高校で、自分が所属したい時間帯を志望して受検することができます。一般的に、定時制は4年間で卒業ですが、本校では所属した時間帯とは別に、異なる時間帯の授業も受け、単位を修得することで、3年間で卒業できます。

Q 自分が所属している時間帯以外の授業も受けることができますのですか？

A 生徒はⅠ部（午前）・Ⅱ部（午後）・Ⅲ部（夜間）のいずれかの時間帯に所属することになります。一定の制限はありますが、所属に関係なく他の時間帯の科目も受講できます。

Q 入学後に他の部に変更できますか？

A できません。

Q 3年間で卒業するためには、毎日何時間ずつ勉強するのですか？

A Ⅰ部（午前）・Ⅱ部（午後）・Ⅲ部（夜間）の部はそれぞれ4時限（90分×2コマ）授業です。1日2コマの授業を受け単位を修得すると4年間で卒業できます。所属する部以外の部の授業も含めて1日3コマの授業を受け単位を修得すると3年間で卒業できます。

Q 1、2年次に単位を多く修得すれば、2年間で卒業できますか？

A できません。1年間に修得できる単位数は最大31単位です。卒業には74単位以上の修得と、3年以上の高校在籍期間が必要です。（休学期間を除き、転編入学者は、前在籍校の在籍期間を加算できます。）

Q 各自が異なった時間割で学習するのでは、友人ができにくいということはありませんか？

A それぞれの授業には似た目的をもった生徒が集まりますから学びの仲間ができます。また、学校全体や自分の属しているクラス単位での活動や行事、部活動もあります。授業ごとに多くの友人と知り合うことができるので、たくさんの友人ができます。

Q 学年がないと聞きましたが、学年制とどう違うのですか？

A 単位制高等学校は一人ひとりが単位を積み上げて卒業するシステムで学年はありません。つまり、2年生・3年生へと進級するという考え方がないので「留年」もありません。すべての卒業要件を満たすことで卒業が認定されます。

Q クラスはありますか？

A 週に1回ホームルーム活動の時間があり、自分の所属するクラスで受講します。学年制ではありませんので、1つのクラスに年齢や学習歴の異なる人たちが集まります。

Q 授業の内容や程度はどうか？

A 授業は2時限連続の90分間で実施します。必修科目を中心に、苦手な人のための講座（基礎講座）や得意な人のための講座（発展・応用講座）を準備しています。自分の力に応じて学習をすすめることができます。

Q 夏休みや冬休みはありますか？

A 2学期制をとりますので夏休みが少し短くなりますが、その分9月に秋休みがあります。

Q 教育相談体制について教えてください。

A 少人数担任制で、すべての教員が生徒のみなさんの不安や悩みを聴くことができる体制を整えています。また、必要に応じてスクール・カウンセラーやスクール・ソーシャルワーカーなどの専門家に相談することもできます。

Q 入学後はどのような生活を送ればいいのか？

A 単位を修得して卒業するためには、欠席や遅刻などをしない学校生活が不可欠です。また、将来に向けての明確な展望をもつことも大切です。

Q 授業だけに出席をすればよいのか？

A 「特別活動」や「総合的な探究の時間」も大切な教育活動の一つです。ホームルーム活動や学校行事をとおして、好ましい人間関係や青春の思い出をつくってください。

Q 登校する時刻について教えてください。

A 登校時刻はそれぞれの生徒によって異なります。自分が作成した時間割に合わせて登校することになります。欠席や遅刻をしないように、日々の生活を自分で管理することが求められます。

Q 学校生活に必要な費用はどれくらいかかりますか？

A 授業料については受講を登録した単位数により算出されます。所得の状況に応じた就学支援金の制度もあります。授業料以外の諸費として保護者教師会費・生徒会費・年次生費・進路指導費、日本スポーツ振興センター掛け金が必要です。その他、教科書代や実習費、体操服代等が必要となります。履修する科目によっては別に実習費が必要な科目もあります。Ⅲ部（夜間）の生徒はさらに給食費が必要ですが、約半額は県から補助がありますから、おいしい夕食を安価でいただくことができます。